

～ 最大級の地震や台風に備え、水害から都民の生命・財産、首都東京の中枢機能を守る ～

【対策の目標】

- 最大級の地震※が発生した場合においても、津波による浸水を防ぐ。
- 水門、排水機場の電気・機械設備の耐水対策を実施する。

※将来にわたって考えられる最大級の地震

【計画期間】 10年間 （平成24年度～平成33年度）

【整備概要】

○防潮堤・内部護岸(耐震対策)

- ・ 背後地盤が想定津波高より低い箇所
- ・ 耐震対策未実施箇所（これまでの計画の継続）

	整備
防潮堤	約17km
内部護岸	約26km
合計	約43km

※水門廃止に伴う防潮堤整備(4箇所)

○水門・排水機場

- ・ 耐震対策、耐水対策が必要な箇所

	施設数
水門	13施設
排水機場	3施設
合計	16施設

○水門操作等

- ・ 高潮対策センターの2拠点化等…第二の高潮対策センター整備、通信網の多重化
- ・ 陸こうの遠隔制御等 …陸こうの削減、遠隔制御システムの導入

【進め方】

2022年(平成33年度)までに完了

- 高潮対策センター、防潮堤、水門の整備
- 排水機場、内部護岸の整備

整備計画図

